

vCloud Suite のライセンス

vCloud Suite 5.1

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-000953-00

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2012, 2013 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

vCloud Suite のライセンス	5
1 vCloud Suite 5.1 コンポーネントとライセンス モデル	7
vCloud Suite コンポーネント	7
vCloud Suite ライセンスのプロセッサ キャパシティの配布	8
2 vSphere Web Client での vCloud Suite コンポーネントの有効化	9
vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの追加	9
vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て	9
3 vSphere Client での vCloud Suite コンポーネントの有効化	11
vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加	11
vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て	12
vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCenter Operations Management Suite への割り当て	12
vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCloud Networking and Security への割り当て	13
vCloud Suite ライセンス キーの vCenter Site Recovery Manager への割り当て	13
4 独自のライセンス認証インターフェイスを使用した vCloud Suite コンポーネントの有効化	15
vCloud Suite ライセンスの vFabric Application Director への割り当て	15
vCloud Director への vCloud Suite ライセンスの割り当て	15
vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Connector に割り当てます。	16
vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.1 への割り当て	16
vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.2 への割り当て	17
5 vCloud Suite のライセンス使用量の監視	19
vSphere Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示	19
vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示	20
vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート	20
vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート	21
インデックス	23

vCloud Suite のライセンス

vCloud Suite のライセンスは、VMware vCloud[®] Suite 5.1 のライセンスモデルおよびさまざまな vCloud Suite コンポーネントを有効化する方法に関する情報を提供します。

対象読者

この情報は、vCloud Suite ライセンスを適用し、vCloud Suite のライセンスの使用状況を定期的に監視する必要があるクラウド インフラストラクチャ環境のシステム管理者を対象としています。

vCloud Suite 5.1 コンポーネントとライセンスモデル

1

VMware vCloud[®] Suite 5.1 は複数のコンポーネントを 1 つの製品にまとめ、あらゆるクラウド インフラストラクチャ機能に総合的に対応します。vCloud Suite コンポーネントを組み合わせることで、仮想化やソフトウェア定義によるデータセンター サービス、ポリシーベースのプロビジョニング、ディザスタ リカバリ、アプリケーション管理、操作管理を行えます。

vCloud Suite 5.1 エディションでは、vSphere Enterprise Plus、vCloud Director、vCloud Networking and Security、その他のコンポーネントが 1 つのライセンスに統合されます。vCloud Suite の各エディションでは、プロセッサごとにライセンス付与されます。vCloud Suite コンポーネントの多くは、仮想マシンごとにライセンス付与されるスタンドアロン製品としても使用できます。ただし、vCloud Suite を介してこれらのコンポーネントを取得した場合、ライセンスはプロセッサごとに付与されます。

vCloud Suite の各エディションのコンポーネントは、単一のライセンス キーを使用して有効化します。たとえば、vCloud Suite 5.1 Standard のライセンス キーを保有している場合、同じキーを使用して、vSphere Enterprise Plus、vCloud Director、vCloud Networking and Security などを実効化できます。

注意 vCloud Suite 5.1 ライセンスは、vCenter Server 5.1 とのみ互換性があります。

vCloud Suite の各エディションでライセンス付与されたプロセッサ上で実行されるすべての仮想マシンは、その vCloud Suite の各エディションに含まれるすべてのコンポーネントを使用することができます。vCloud Suite のライセンスが割り当てられていないプロセッサ上で仮想マシンを実行するには、使用する製品の個別ライセンスが必要です。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vCloud Suite コンポーネント \(P. 7\)](#)
- [vCloud Suite ライセンスのプロセッサ キャパシティの配布 \(P. 8\)](#)

vCloud Suite コンポーネント

異なる vCloud Suite 5.1 エディションには、異なるコンポーネントのセットが含まれています。vCloud Suite ライセンスを vCloud Suite エディション内のすべてのコンポーネントに割り当てる必要があります。

次の vCloud Suite コンポーネントは vCloud Suite 5.1 Enterprise エディションに対応します。

表 1-1. vCloud Suite 5.1 コンポーネント

コンポーネント	説明
VMware vSphere	クラウド インフラストラクチャのプラットフォームとして使用できる仮想化テクノロジーを提供します。
VMware vCloud [®] Director	仮想インフラストラクチャ リソースを仮想データセンター内にプールすることによって、セキュリティで保護されたマルチテナントクラウドを構築する機能を提供します。

表 1-1. vCloud Suite 5.1 コンポーネント (続き)

コンポーネント	説明
VMware vCloud Connector	複数のパブリック クラウドおよびプライベート クラウドを監視し、クラウドのコンテンツを 1 つのクラウドから別のクラウドに転送するための単一のユーザー インターフェイスを提供します。vCloud Connector を使用して、内部および外部の複数のクラウドを接続することができます。
VMware vFabric Application Director	アプリケーションのコンポーネントおよび依存するミドルウェア プラットフォーム サービスのインフラストラクチャ クラウド上での展開と構成を含む、クラウド内のアプリケーション プロビジョニングを自動化します。vCloud Suite には、vFabric Application Director for Provisioning エディションが含まれています。
VMware vCloud Networking and Security	VMware vSphere 用のセキュリティスイートを提供します。vCloud Networking and Security (以前の vShield) は、仮想化されたデータセンターを攻撃や誤った使用から保護し、コンプライアンスを義務付けられた目標を達成するのに役立つ重要なセキュリティコンポーネントです。
VMware vCenter Operations Management Suite	操作管理を自動化し、仮想化されたインフラストラクチャおよびクラウド インフラストラクチャのパフォーマンス、容量、および構成の管理を統合します。
VMware vCenter Site Recovery Manager	1 つのサイト (保護されたサイト) と別のサイト (回復サイト) の間の仮想マシンの計画、テスト、および回復実行に役立つビジネス継続性およびディザスタ リカバリ機能を提供します。
VMware vCloud Automation Center	Infrastructure-as-a-Service (IaaS)、Platform-as-a-Service (PaaS)、および Desktop-as-a-Service (DaaS) の展開のための複数クラウドにわたる「スタアフロント」を提供します。vCloud Automation Center を使用することによって、プライベートクラウドとパブリッククラウド、物理的なインフラストラクチャ、ハイパーバイザー、パブリッククラウドプロバイダにわたるビジネス関連クラウド サービスを展開およびプロビジョニングすることができます。

vCloud Suite ライセンスのプロセッサ キャパシティの配布

各 vCloud Suite 5.1 ライセンスには一定のプロセッサ キャパシティがあり、これを使用して複数の物理プロセッサを、vCloud Suite コンポーネントを実行する ESXi ホストでライセンス供与できます。vCloud Suite ライセンス キーをホストに割り当てる場合、消費されるプロセッサ キャパシティの量はホスト内の物理プロセッサの数に等しくなります。

vCloud Suite 5.1 コンポーネントを実行する物理プロセッサにライセンス供与するには、ホストのすべての物理プロセッサをライセンス供与するのに十分なプロセッサ キャパシティを持つ vCloud Suite 5.1 ライセンス キーを ESXi ホストに割り当てる必要があります。

たとえば、vCloud Suite 5.1 を 2 台の ESXi 5.x ホストで実行し、ホストのそれぞれに 4 個のプロセッサがある場合、最低限 8 プロセッサのキャパシティを持つ vCloud Suite 5.1 ライセンス キーをホストに割り当てる必要があります。

vCloud Suite 5.1 ライセンス キーのプロセッサのキャパシティは、ESXi ホストの任意の組み合わせに割り当てたり、再割り当てしたりできます。たとえば、10 個のプロセッサの vCloud Suite 5.1 ライセンス キーを購入するとします。このライセンス キーは、次に示すホストの任意の組み合わせに割り当てることができます。

- 2 プロセッサのホスト 5 台。
- 2 プロセッサのホスト 3 台と 4 プロセッサのホスト 1 台。
- 4 プロセッサのホスト 2 台と 2 プロセッサのホスト 1 台。
- 8 プロセッサのホスト 1 台と 2 プロセッサのホスト 1 台。

2 個または 4 個の独立したプロセッサをシングル チップに結合する Intel プロセッサなどのデュアルコア プロセッサおよびクワッドコア プロセッサは、1 プロセッサとしてカウントされます。

vSphere Web Client での vCloud Suite コンポーネントの有効化

2

vCloud Suite ライセンス キーをすべてのスイート コンポーネントに割り当てる必要があります。vSphere Web Client と統合されるコンポーネントの場合、クライアントでライセンス管理オプションを使用できます。

注意 vCloud Suite 5.1 ライセンスは、vCenter Server 5.1 とのみ互換性があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 9\)](#)
- [vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て \(P. 9\)](#)

vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの追加

vCloud Suite ライセンス キーをスイート コンポーネントに割り当てるには、vCenter Server のライセンス インベントリにキーを追加する必要があります。

開始する前に

必要な権限: **グローバル、ライセンス**

手順

- 1 vSphere Web Client ナビゲーション ホームから、**[[管理]]** を選択し、**[[ライセンス]]** の下の **[[ライセンス]]** を選択します。
- 2 **[[ライセンス キー]]** タブで、**[[ライセンス キーの追加]]** をクリックします。
- 3 vCloud Suite ライセンス キーを入力し、**[[次へ]]** をクリックします。
My VMware からライセンス キーをコピー アンド ペーストすることができます。
- 4 **[[終了]]** をクリックします。

次に進む前に

vSphere Web Client と統合されるスイート コンポーネントに vCloud Suite ライセンス キーを割り当てます。

vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て

vCloud Suite コンポーネントを実行中の ESXi ホストに vCloud Suite ライセンス キーを割り当てる必要があります。vSphere Web Client のライセンス管理オプションを使用してライセンス キーを割り当てることができます。

開始する前に

- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のインベントリに追加されていることを確認します。[\[vSphere Web Client での vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 9\)\]](#) を参照してください。

■ 必要な権限: グローバル. ライセンス

手順

- 1 vSphere Web Client ナビゲーション ホームから、[[管理]] を選択し、[[ライセンス]] の下の [[ライセンス]] を選択します。
- 2 [[ホスト]] タブで、vCloud Suite コンポーネントを実行中の ESXi ホストを選択し、[[ライセンス キーの割り当て]] をクリックします。

複数のホストを選択するには、Shift キーを押しながらクリックします。
- 3 vCloud Suite ライセンス キーを選択し、[[OK]] をクリックします。

ESXi ホストに、vCloud Suite のライセンスが付与されます。

vSphere Client での vCloud Suite コンポーネントの有効化

3

vCloud Suite ライセンスをすべてのスイート コンポーネントに割り当て、vCloud Suite の機能をロック解除する必要があります。vSphere Client と統合されるコンポーネントの場合、クライアントでライセンス管理オプションを使用できます。

注意 vCloud Suite 5.1 ライセンスは、vCenter Server 5.1 とのみ互換性があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)](#)
- [vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て \(P. 12\)](#)
- [vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCenter Operations Management Suite への割り当て \(P. 12\)](#)
- [vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCloud Networking and Security への割り当て \(P. 13\)](#)
- [vCloud Suite ライセンス キーの vCenter Site Recovery Manager への割り当て \(P. 13\)](#)

vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加

vCloud Suite ライセンス キーをスイート コンポーネントに割り当てるには、vCenter Server のライセンス インベントリにキーを追加する必要があります。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル、ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。

手順

- 1 vSphere Client で、[ホーム] - [管理] - [ライセンス] を選択します。
- 2 [[vSphere ライセンスの管理]] を選択します。
- 3 [ライセンス キーの追加] ページで、vCloud Suite ライセンス キーを入力するか貼り付け、オプションのキーのラベルを入力します。
- 4 [ライセンス キーの追加] をクリックします。
- 5 ライセンス キーの詳細を確認し、ウィザードの以降のページで [[次へ]] をクリックし、[[完了]] をクリックします。

vCloud Suite ライセンス キーが、vCenter Server のライセンス インベントリに追加されます。

次に進む前に

vCloud Suite ライセンス キーを vSphere、vCenter Operations Management Suite、vCenter Site Recovery Manager、および vCloud Networking and Security に割り当てます。

vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vSphere への割り当て

vCloud Suite のコンポーネントを実行中の ESXi ホストに vCloud Suite ライセンス キーを割り当てる必要があります。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル, ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。 [\[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[ホーム] - [管理] - [ライセンス] を選択します。
- 2 [[vSphere ライセンスの管理]] を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンスの割り当て] ページで、[[ESX]] を選択します。
- 5 vCloud Suite コンポーネントを実行する ESXi ホストを選択します。
- 6 [製品] ウィンドウから、vCloud Suite ライセンス キーを選択します。
- 7 [ライセンス キーの削除] ページで、[次へ] をクリックします。 []
- 8 [終了] をクリックして、変更内容を保存します。

vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCenter Operations Management Suite への割り当て

vCloud Suite ライセンス キーを vCenter Operations Management Suite のコンポーネントに割り当て、vCloud Suite の一部として使用します。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル, ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。 [\[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[ホーム] - [管理] - [ライセンス] を選択します。
- 2 [[vSphere ライセンスの管理]] を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンスの割り当て] ページで、[[ソリューション]] を選択します。
- 5 vCloud Suite の一部として実行する vCenter Operations Management Suite のコンポーネントを選択します。
- 6 [製品] ウィンドウから、vCloud Suite ライセンス キーを選択します。
- 7 [ライセンス キーの削除] ページで、[次へ] をクリックします。 []
- 8 [終了] をクリックして、変更内容を保存します。

vSphere Client での vCloud Suite ライセンスの vCloud Networking and Security への割り当て

vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Networking and Security に割り当て、スイートの一部として使用します。

注意 vSphere Client で vCloud Networking and Security コンポーネントが vShield の下に表示されます。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル, ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。 [\[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[ホーム]-[管理]-[ライセンス] を選択します。
- 2 [[vSphere ライセンスの管理]] を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンスの割り当て] ページで、[[ソリューション]] を選択します。
- 5 vCloud Networking and Security (vShield) を選択します。
- 6 [製品] ウィンドウから、vCloud Suite ライセンス キーを選択します。
- 7 [ライセンス キーの削除] ページで、[次へ] をクリックします。 []
- 8 [終了] をクリックして、変更内容を保存します。

vCloud Suite ライセンス キーの vCenter Site Recovery Manager への割り当て

vCloud Suite ライセンス キーを vCenter Site Recovery Manager に割り当て、スイートの一部として使用します。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル, ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。 [\[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[ホーム]-[管理]-[ライセンス] を選択します。
- 2 [[vSphere ライセンスの管理]] を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンスの割り当て] ページで、[[ソリューション]] を選択します。
- 5 vCenter Site Recovery Manager を選択します。
- 6 [製品] ウィンドウから、vCloud Suite ライセンス キーを選択します。
- 7 [ライセンス キーの削除] ページで、[次へ] をクリックします。 []
- 8 [終了] をクリックして、変更内容を保存します。

独自のライセンス認証インターフェイスを使用した vCloud Suite コンポーネントの有効化

4

vCloud Suite ライセンスをすべてのスイート コンポーネントに割り当てる必要があります。vCloud Director []、vCloud Connector、vCloud Automation Center、および vFabric Application Director は、ライセンス割り当てのための独自のライセンス認証インターフェイスを提供しています。

注意 vCloud Suite 5.1 ライセンスは、vCenter Server 5.1 とのみ互換性があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vCloud Suite ライセンスの vFabric Application Director への割り当て \(P. 15\)](#)
- [vCloud Director への vCloud Suite ライセンスの割り当て \(P. 15\)](#)
- [vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Connector に割り当てます。 \(P. 16\)](#)
- [vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.1 への割り当て \(P. 16\)](#)
- [vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.2 への割り当て \(P. 17\)](#)

vCloud Suite ライセンスの vFabric Application Director への割り当て

vFabric Application Director を vCloud Suite の一部として使用するには、vCloud Suite ライセンス キーを割り当てる必要があります。

コンポーネントのインストール中に vCloud Suite ライセンス キーを vFabric Application Director に割り当てることができます。vFabric Application Director が既にインストールおよび実行され、別のライセンス キーが割り当てられている場合は、vFabric Application Director をもう一度インストールして、vCloud Suite ライセンス キーを割り当てる必要があります。

vCloud Suite ライセンス キーは、vFabric Application Director for Provisioning エディションの機能をロック解除します。

vCloud Director への vCloud Suite ライセンスの割り当て

vCloud Director を vCloud Suite の一部として使用するには、vCloud Director に vCloud Suite ライセンス キーを割り当てる必要があります。

コンポーネントのインストール中に vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Director へ割り当てることも、すでに実行中の vCloud Director のインスタンスにライセンス キーを割り当てることもできます。

開始する前に

vCloud Director に管理者としてログインする必要があります。

手順

- 1 vCloud Director Web コンソールのホーム ページで、[管理] を選択します。

- 2 [システム設定] の下で [ライセンス] を選択します。
- 3 [シリアル番号] テキスト ボックスに、vCloud Suite ライセンス キーを入力するか、コピー アンド ペーストします。
- 4 [Apply] をクリックします。

vCloud Director に vCloud Suite のライセンスが供与されます。vCloud Suite ライセンスはプロセッサごとに供与されるため、[ライセンス供与された仮想マシンの数] フィールドには仮想マシンの数は表示されません。

vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Connector に割り当てます。

vCloud Connector 2.0 Advanced の機能を vCloud Suite 5.1 の一部として使用するには、vCloud Connector に vCloud Suite 5.1 ライセンス キーを割り当てる必要があります。

手順

- 1 Web ブラウザで、<https://<vCloudConnectorServerIPaddress>:5480> にアクセスします。
これは、vSphere または vCloud Director でインストールした vCloud Connector Server の IP アドレスです。サーバの IP アドレスはサーバのコンソールから取得できます。
- 2 **admin** としてログインします。
パスワードをまだ変更していない場合は、デフォルトのパスワード **vmware** を使用します。
- 3 [[サーバ]] タブで [[全般]] タブを選択します。
- 4 [[vCC ライセンス]] セクションで、[[ライセンス キー]] テキスト ボックスに vCloud Suite ライセンス キーをコピー アンド ペーストするか入力します。
- 5 [[キーの更新]] をクリックします。

vCloud Connector Advanced の機能が有効になります。

vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.1 への割り当て

vCloud Automation Center 5.1 を vCloud Suite の一部として使用するには、vCloud Suite ライセンスを割り当てる必要があります。vCloud Automation Center の vCloud Suite ライセンスは、XML ファイルであり、インストール中に vCloud Automation Center に割り当てるか、vCloud Automation Center の既に行われているインスタンスに割り当てることができます。

vCloud Suite ライセンスを vCloud Automation Center の既に行われているインスタンスに割り当てるには、現在の vCloud Automation Center ライセンスを vCloud Suite ライセンスで上書きする必要があります。vCloud Automation Center ライセンスは、**lic.xml** という名前で、vCloud Automation Center のルート インストール ディレクトリに置かれています。



注意 vCloud Suite ライセンスで置き換える前に現在の vCloud Automation Center ライセンスを削除しないでください。

手順

- 1 vCloud Suite ライセンス ファイルの名前を **lic.xml** に変更します。
- 2 vCloud Suite ライセンス ファイルを vCloud Automation Center のルート インストール ディレクトリにコピーします。
vCloud Suite ライセンスは、vCloud Automation Center ライセンスを上書きします。
vCloud Automation Center は、vCloud Suite ライセンスを自動的に検出し、ライセンス情報を更新します。

- 3 以前の vCloud Automation Center ライセンスが無効か期限切れになっている場合は、vCloud Suite ライセンスを再び読み込みます。
 - a vCloud Automation Center コンソールを vCAC 管理者として起動します。
 - b [[vCAC Administrator]] - [[ライセンス情報]] を選択します。
 - c [[ライセンスの再読み込み]] をクリックします。

vCloud Automation Center に vCloud Suite のライセンスが付与されます。

vCloud Suite ライセンスの vCloud Automation Center 5.2 への割り当て

vCloud Suite ライセンス キーを vCloud Automation Center 5.2 に割り当て、スイートの一部として使用します。

手順

- 1 vCloud Automation Center を vCAC 管理者として起動します。
- 2 [[vCAC Administrator]] - [[ライセンス情報]] の順に選択します。
[ライセンスの追加] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 [[ライセンス キー]] に vCloud Suite ライセンス キーを入力します。
My VMware からキーをコピー アンド ペーストすることもできます。
- 4 [OK] をクリックします。

vCloud Suite のライセンス使用量の監視

vCenter Server のライセンスレポート機能を使用すると、割り当てられているすべての vCloud Suite について、ライセンス使用量およびキャパシティを監視できます。

vCenter Server のライセンス レポート機能を使用して、以下のタスクを実行できます。

- vCenter Server システムと期間でフィルタ処理した、vCloud Suite のライセンス使用量とキャパシティに関する統計情報を表示する。
- ライセンス使用量レポートを CSV ファイルでエクスポートして、後で分析や処理用に利用する。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示 \(P. 19\)](#)
- [vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示 \(P. 20\)](#)
- [vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート \(P. 20\)](#)
- [vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート \(P. 21\)](#)

vSphere Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示

vCloud Suite のライセンス使用量が製品のコンプライアンス条件を満たしていることを確認するために、割り当てられている vCloud Suite ライセンスの CPU 使用量を定期的に追跡できます。

vCenter Server は、ライセンスの使用状況のスナップショットを 1 時間ごとに作成します。ライセンスの使用状況のスナップショットには、現在のライセンスの割り当てと使用状況に関するデータが含まれています。ライセンス レポートインターフェイスの使用状況情報には、選択した期間に作成されたスナップショットから集計された統計が含まれています。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル, ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。[[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)](#)] を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[[ホーム]] - [[管理]] - [[ライセンス]] の順に移動し、[[レポート]] タブを選択します。
- 2 [vCenter Server] ドロップダウン メニューから、vCenter Server システムを選択します。
デフォルトの [すべての vCenter Server インスタンス] を選択したままにしておきます。

- 3 [[期間]] ドロップダウン メニューから、ライセンス使用状況データを集計する構成済みの期間またはカスタム期間を選択します。

カスタム期間の場合は、開始日と終了日を指定し、[[再計算]] をクリックする必要があります。

- 4 [製品チャート] ウィンドウで、vCloud Suite 製品を選択します。

選択した期間の vCloud Suite のライセンス使用状況に関する詳細が、[製品詳細] ウィンドウに表示されます。ライセンス使用状況は、選択した期間の日ごとの最高値の平均として計算されます。

vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量の表示

vSphere Web Client のライセンス報告機能を使用し、vCloud Suite のライセンス使用量を追跡することができます。

vCenter Server は、ライセンスの使用状況のスナップショットを 1 時間ごとに作成します。ライセンスの使用状況のスナップショットには、現在のライセンスの割り当てと使用状況に関するデータが含まれています。ライセンス レポート インターフェイスの使用状況情報には、選択した期間に作成されたスナップショットから集計された統計が含まれています。

開始する前に

必要な権限: **グローバル、ライセンス**

手順

- 1 vSphere Web Client ナビゲーション ホームから、[[管理]] を選択し、[[ライセンス]] の下の [[ライセンス レポート]] を選択します。
- 2 [vCenter Server] ドロップダウン メニューから、vCenter Server システムを選択します。
- 3 (オプション) リンク モード グループの一部である vCenter Server システムのライセンス使用量データを集計するには、[選択した vCenter Server インスタンスのライセンス データのみをエクスポート] を選択します。
- 4 [[期間]] ドロップダウン メニューから、ライセンス使用状況データを集計する構成済みの期間またはカスタム期間を選択します。
カスタム期間の場合は、開始日と終了日を指定し、[[再計算]] をクリックする必要があります。
- 5 [製品チャート] ウィンドウで、vCloud Suite 製品を選択します。

選択した期間の vCloud Suite のライセンス使用状況に関する詳細が、[製品詳細] ウィンドウに表示されます。ライセンス使用状況は、選択した期間の日ごとの最高値の平均として計算されます。

vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート

期間と vCenter Server システムについて、vCloud Suite のライセンス使用量に関するレポートをエクスポートできます。レポートは CSV ファイルでエクスポートされるので、後でサードパーティ製アプリケーションで開くことができます。

エクスポートされたレポートのライセンス使用状況データには、vCenter Server が 1 時間ごとに収集するライセンス使用状況のスナップショットが含まれています。

注意 vCenter Server の改ざん検出機能は、ライセンス使用状況情報を保護します。vCenter Server データベース内のライセンス データが編集されている場合は、ライセンス使用状況レポートをエクスポートできません。

開始する前に

- 必要な権限: **グローバル、ライセンス**
- vSphere Client が vCenter Server システムに接続されていることを確認します。
- vCloud Suite ライセンス キーが vCenter Server のリポジトリに追加されていることを確認します。[\[vSphere Client を使用した vCloud Suite ライセンスの追加 \(P. 11\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 vSphere Client で、[[ホーム]] - [[管理]] - [[ライセンス]] の順に移動し、[[レポート]] タブを選択します。
- 2 [エクスポート] をクリックします。
- 3 [vCenter Server] ドロップダウン リストから、ライセンス使用量レポートのエクスポート先となる vCenter Server システムを選択します。
デフォルトの [すべての vCenter Server インスタンス] を選択したままにしておきます。
- 4 [[期間]] ドロップダウン メニューから、構成済みの期間またはカスタム期間を選択します。
- 5 [エクスポート] をクリックします。
- 6 ローカル システムにレポートを保存します。

vSphere Web Client での vCloud Suite のライセンス使用量レポートのエクスポート

vSphere Web Client で、期間と vCenter Server システムについて、vCloud Suite のライセンス使用量に関するレポートをエクスポートできます。レポートは CSV ファイルでエクスポートされるので、後でサードパーティ製アプリケーションで開くことができます。

エクスポートされたレポートのライセンス使用状況データには、vCenter Server が 1 時間ごとに収集するライセンス使用状況のスナップショットが含まれています。

注意 vCenter Server の改ざん検出機能は、ライセンス使用状況情報を保護します。vCenter Server データベース内のライセンス データが編集されている場合は、ライセンス使用状況レポートをエクスポートできません。

開始する前に

必要な権限: **グローバル、ライセンス**

手順

- 1 vSphere Web Client ナビゲーション ホームから、[[管理]] を選択し、[[ライセンス]] の下の [[ライセンス レポート]] を選択します。
- 2 [エクスポート] をクリックします。
- 3 [vCenter Server] ドロップダウン リストから、ライセンス使用量レポートのエクスポート先となる vCenter Server システムを選択します。
リンク モード グループの一部である vCenter Server システムを選択すると、レポートにはグループ全体のライセンス使用量データが含まれます。
- 4 (オプション) リンク モード グループの一部である vCenter Server システムのデータをエクスポートするには、[選択した vCenter Server インスタンスのライセンス データのみをエクスポート] を選択します。
- 5 [[期間]] ドロップダウン メニューから、構成済みの期間またはカスタム期間を選択します。
- 6 [エクスポート] をクリックします。
- 7 ローカル システムにレポートを保存します。

インデックス

V

- vCloud Suite
 - vSphere Web Client 9
 - コンポーネント 7
 - ライセンス 7, 9
- vCloud Suite コンポーネント
 - vCloud Automation Center 16, 17
 - vCloud Connector 16
 - vCloud Director へのライセンス供与 15
 - カスタム ライセンス認証インターフェイス 15
 - 有効化 11, 12, 15–17
 - ライセンス管理機能 11, 12
 - ライセンス キーの追加 11
 - ライセンスの割り当て 9, 12, 15, 16
- vCloud Suite コンポーネントの有効化 12
- vCloud Suite ライセンス、追加 9
- vCloud Suite ライセンスの追加 9
- vCloud Suite ライセンスの割り当て
 - vCenter Operations Management Suite 12
 - vCenter Site Recovery Manager 13
 - vCloud Networking and Security 13

ら

- ライセンス
 - vCloud Suite 9
 - 使用量 20
- ライセンス キー
 - 追加 11
 - 割り当て 9, 15
- ライセンス キーの割り当て 12
- ライセンス キャパシティ、プロセッサ 8
- ライセンス使用量
 - CPU 使用率 19
 - エクスポート レポート 20, 21
 - 監視 19
- ライセンスの割り当て 8, 15

